

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭63-130449

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)6月2日

B 60 R 22/24  
22/128510-3D  
8510-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 自動車のシートベルト装置

⑯ 特 願 昭61-274567

⑰ 出 願 昭61(1986)11月17日

⑱ 発 明 者 桑 田 義 正 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内  
⑲ 発 明 者 前 原 誠 子 広島県安芸郡府中町新地3番1号 マツダ株式会社内  
⑳ 出 願 人 マツダ株式会社 広島県安芸郡府中町新地3番1号  
㉑ 代 理 人 弁理士 大 浜 博

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

自動車のシートベルト装置

## 2. 特許請求の範囲

1. ウエビングの一端側がリトラクタに巻装されたショルダー部を備え、該ショルダー部の途中に中間ハンガーを有する自動車のシートベルト装置において、上記リトラクタを車室内フロア部中央のセンターコンソール部に設置するとともに上記ショルダー部途中の中間ハンガーを車室内ルーフ中央部下面に係止するようにしたことを特徴とする自動車のシートベルト装置。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、自動車のシートベルト装置に関するものである。

(従来技術)

一般に自動車のフロント側の運転席および助手席シートには、例えば第3図に示すように、シー

トベルト本体を形成するウエビングの一端に当該ウエビングを引き出し又は巻戻し可能に巻装したリトラクタ4,4を設け、該リトラクタ4,4を車体側クォータートリム7の内側で車体に対して固定するとともにショルダー部途中に設けた中間ハンガー5,5をセンタビラー3の上部に固定し、さらに上記ウエビングの他端側係止部6,6を上記シートS<sub>1</sub>,S<sub>2</sub>のアウトサイド側下部に固定することによって構成されたフロントシートベルト1,1がそれぞれ設けられている。これらフロントシートベルト1,1の上記中間ハンガー5,5と係止部6,6との間にはスルーフリーな状態でラップ側バックルの一方側掛け金具10a,10aが係合されている。他方、上記運転席シートS<sub>1</sub>と助手席シートS<sub>2</sub>との間のサイドブレーキ部位置には上記バックル10の他方側受け金具10b,10bが設けられている。

そして、上記バックルの掛け金具10a,10aと受け金具10b,10bとを嵌合締結することによってラップ部およびショルダー部が共に装着状

態に維持されるようになっていた(例えば実開昭61-37055号公報参照)。

ところが、上記のような構成のシートベルト装置では、センターピラーのないセンターピラーレス車の場合には、上記ショルダー部の中間ハンガー5を取付けることができない問題が生じる。

そこで、最近では上記のようなセンターピラーレス車においては、第4図に示すように上記中間ハンガー5をルーフ側両側部のルーフサイドレール2に対して取付けることが行なわれている。

(発明が解決しようとする問題点)

しかし、上記のようにセンターピラーレス車においてショルダー部途中の中間ハンガーをルーフサイドレールに対して固定する構成を採ると、当該ショルダー部が常時ウィンドガラスに沿って垂れた状態でウィンド開口<sup>内</sup>に位置することとなるためウィンドの開放感をいちじるしく低下させるとともに、それが外部からそのまま見えるようになるので非常に見栄えが悪くなる欠点がある。

(問題点を解決するための手段)

(実施例)

第1図および第2図は、本発明の実施例に係る自動車のシートベルト装置を示している。

第1図および第2図において、先ず符号20、20は運転席S、および助手席S、の各々に対応してそれぞれ設けられた3点式のシートベルトである。

上記シートベルト20は、上記運転席S、又は助手席S、の左右両端間に亘って延設係止されるラップ部20Aと、ウエビング一端側がリトラクタ21(第2図参照)に引き出し又は巻戻し可能に巻装されているとともに他端側が中間ハンガー22を介して上記ラップ部20Aの一端側に連続するショルダー部20Bと、上記ラップ部20Aの上記ショルダー部20Bに連続する一端側に介装された掛け金具(サッシュガイドプレート)23と係合して上記ラップ部20Aおよびショルダー部20Bに係止するバックル30を備えたバックル部20Cとから構成されている。

そして、上記リトラクタ21は車体側の車室内

本発明は、上記の問題を解決することを目的としてなされたもので、ウエビングの一端側がリトラクタに巻装されたショルダー部を備え、該ショルダー部の途中に中間ハンガーを有する自動車のシートベルト装置において、上記リトラクタを車室内フロア部中央のセンターコンソール部に設置するとともに上記ショルダー部途中の中間ハンガーを車室内ルーフ中央部下面に係止するようにしてなるものである。

(作用)

上記の手段によると、ショルダー部のウエビング一端側に設けられたリトラクタが車室内フロア中央のセンターコンソール部に設置されており、しかも上記ショルダー部の中間部に係止する中間ハンガーが車室内ルーフ中央部下面に対して係止されるようになっているので、ショルダー部がウィンドガラスに沿って垂設されるものと異なり、センターピラーレス車に対して適用した場合にも外部からショルダー部が見えにくくなり見栄えのよいものとなる。

フロア部中央に設けられたセンターコンソール24内の空間部24aに設置されている一方、上記中間ハンガー22は車体側ルーフパネル25の中央部下面に設けられた断面略コ字状のルーフレインフォースメント26に対して脱着可能に係止されるようになっている。

すなわち、上記ルーフレインフォースメント26には、上記中間ハンガー22先端の掛け金部22aに対応して係合するバックル部27が設けられており、該バックル部27がアンカブラケット28を介して固定されている。従って、上記中間ハンガー22は、その掛け金部22a先端を上記バックル部27の嵌合孔内に挿入することにより係合ロックされる。このロック状態は、またロック解除機構(図示省略)により任意に解除されるようになっている。

従って、以上の構成では、上記シートベルト装置時において、先ず上記中間ハンガー22を上記ルーフレインフォースメント26のアンカブラケット27に対して上記掛け金部22aおよびバックル部27に係合させる。

クル部27を介して連結するとともに、さらに上記ラップ部側の掛け金具23を上記バックル部20Cのバックル30に係合すると、当該シートベルト20は第2図のように3点張設されることになり、上記ショルダー部20Bは車室内中央部において略斜め上下方向に延設されることになる。そのため、ウインドガラス部Wに近接してショルダベルトが位置する場合と異なりウインドの開放感を阻害することがなくなるとともに外部からは余り見えないようになり、一段と見栄えが向上する。

また、中間ハンガー22が空間的に制約のない車室内上方部に位置し、しかも脱着可能に係止されるようになっているので、同時に操作性も向上することになる。

#### (発明の効果)

本発明は、以上に説明したように、ウエビングの一端側がリトラクタに巻装されたショルダー部を備え、該ショルダー部の途中に中間ハンガーを有する自動車のシートベルト装置において、上記

リトラクタを車室内フロア部中央のセンターコンソール部に設置するとともに上記ショルダー部途中の中間ハンガーを車室内ルーフ中央部下面に係止するようにしたことを特徴とするものである。

従って、本発明によると、ショルダー部のウエビング一端側に設けられたリトラクタが車室内フロア中央のセンターコンソール部に設置されており、しかも上記ショルダー部の中間部に係止する中間ハンガーが車室内ルーフ中央部下面に対して係止されるようになっているので、ショルダー部がウインドガラスに沿って垂設されるものと異なり、センターピラーレス車に対して適用した場合にもウインドの開放感を阻害することなく外部からショルダー部が見えにくくなり見栄えのよいものとなる。

#### 4. 図面の簡単な説明

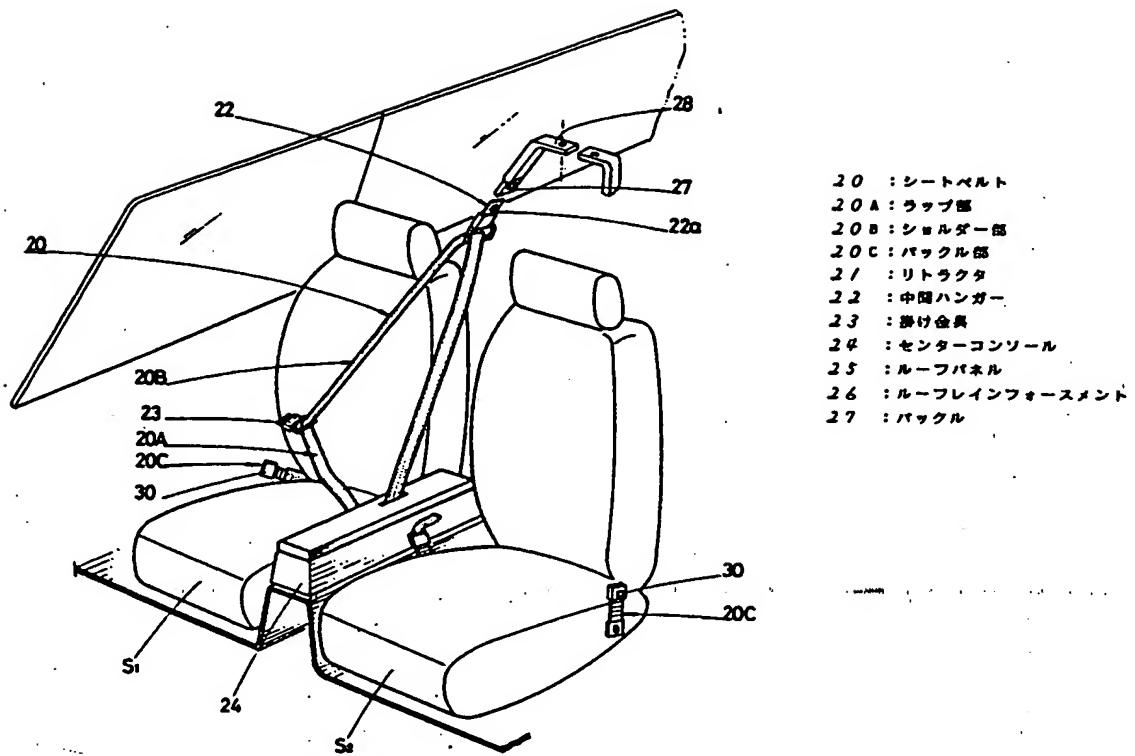
第1図は、本発明の実施例に係る自動車のシートベルト装置の斜視図、第2図は、同装置の断面図、第3図および第4図は、従来例の斜視図である。

- 20・・・・・・シートベルト
- 20A・・・・・・ラップ部
- 20B・・・・・・ショルダー部
- 20C・・・・・・バックル部
- 21・・・・・・リトラクタ
- 22・・・・・・中間ハンガー
- 23・・・・・・掛け金具
- 24・・・・・・センターコンソール
- 25・・・・・・ルーフパネル
- 26・・・・・・ルーフレインフォースメント
- 27・・・・・・バックル

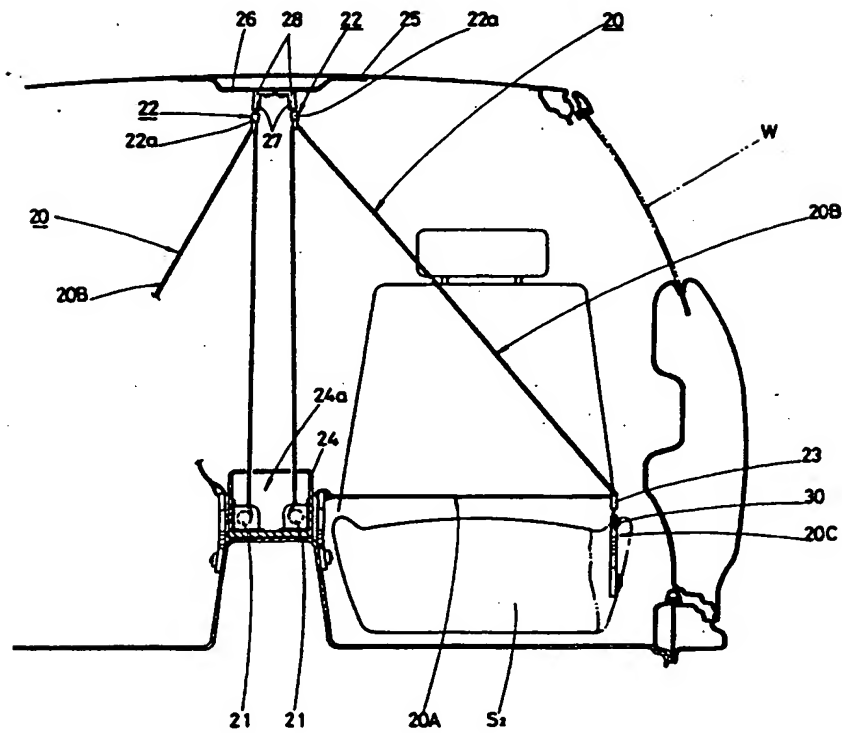
出 願 人     マ ッ グ 株式会社

代 理 人     弁 理 士   犬 坂

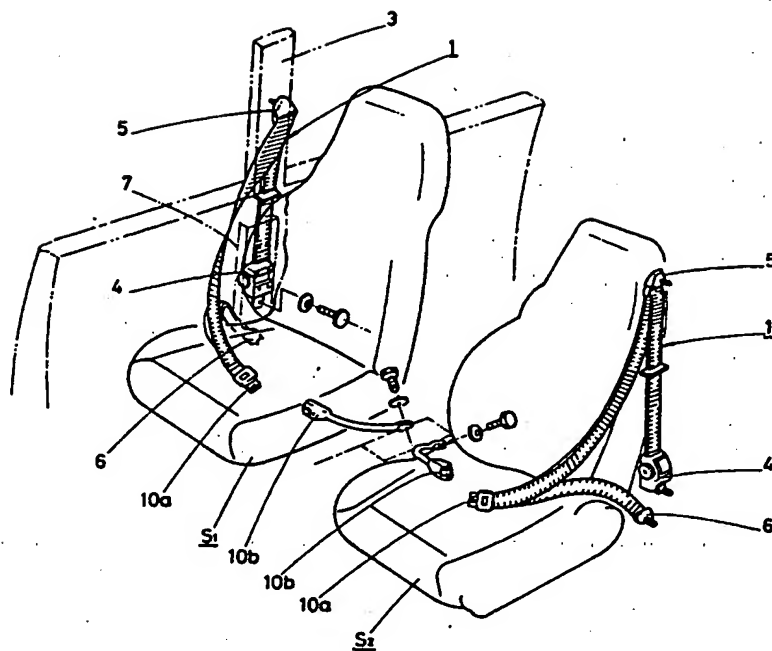




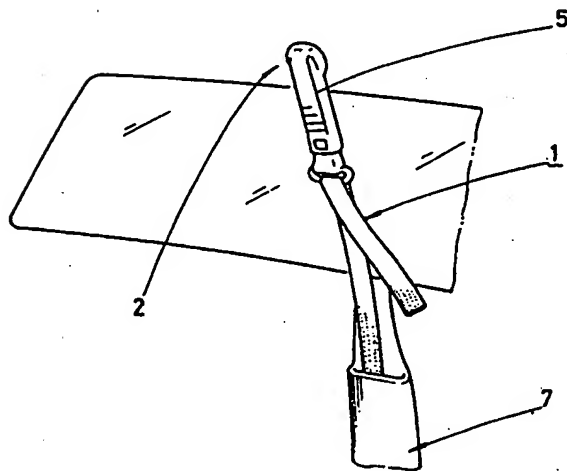
第1図



第2図



第 3 図



第 4 図

CLIPPEDIMAGE= JP363130449A

PAT-NO: JP363130449A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63130449 A

TITLE: SEATBELT DEVICE FOR AUTOMOBILE

PUBN-DATE: June 2, 1988

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KUWATA, YOSHIMASA

MAEHARA, SHIGEKO

INT-CL (IPC): B60R022/24; B60R022/12

US-CL-CURRENT: 280/808

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable fixing of a three point seatbelt to a center pillarless car, by providing a retractor on a center console section in the center of the indoor floor section, then stopping two hook metals respectively to buckles at the seat window side and on the underface of the indoor roof.

CONSTITUTION: A retractor 21 entraining over one end side of a seatbelt webbing 20 is provided at a center console section 24 in the center of the indoor floor section. The other end of the webbing 20 is stopped at the seat side at the center console section side of the seat, then two hook metals 22, 23 are fitted in the webbing 20 such that they are engaged respectively with buckles 30, 27 at the seat window side and on the underface of the indoor roof so as to form a lap section 20A and a shoulder section 20B. Consequently, even a center

pillarless car can be fixed with a three point seatbelt  
without sacrifice of  
open feeling of window, resulting in the improvement of the  
appearance.

COPYRIGHT: (C)1988, JPO&Japio

----- KWIC -----

Document Identifier - DID:

JP 63130449 A

Current US Cross Reference Classification - CCXR:-----  
280/808